



令和7年6月26日発表

# 北陸経済調査

## 〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の最近の経済動向をみると、緩やかに持ち直している。

※前回5月判断を据置き(令和6年11月以降、8か月連続の据置き)

(総括判断のポイント)

個人消費は、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では「緩やかに回復しつつある」。生産は、化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械が弱い動きとなっていることなどから、全体では「弱含んでいる」。雇用情勢は、「緩やかに持ち直している」。

## 【先行き】

○ 雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな持ち直しを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続による影響なども、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

## 【総括判断】

項目	令和7年5月	令和7年6月	前回との比較
総括判断	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

## 【主要項目の判断】

項目	令和7年5月	令和7年6月	前回との比較
個人消費	緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	→
住宅建設	持ち直しつつある。	持ち直しつつある。	→
生産	弱含んでいる。	弱含んでいる。	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

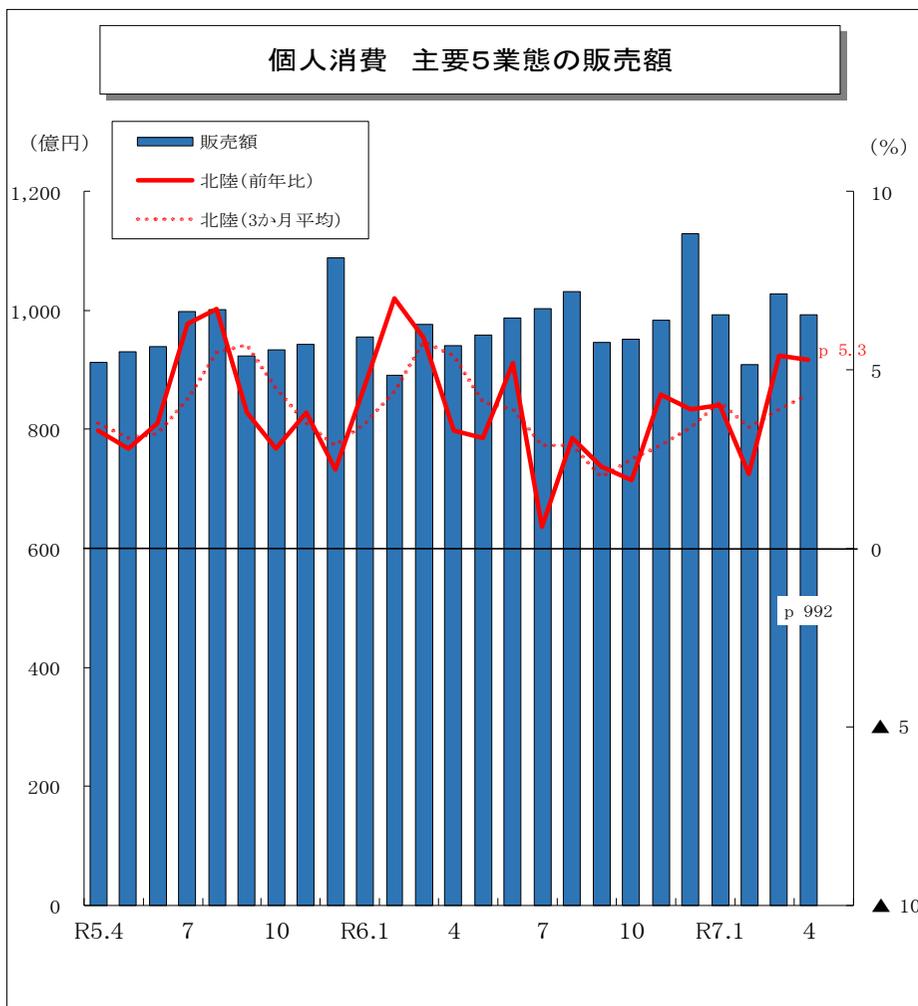
令和7年6月  
財務省 北陸財務局

お問合せ先  
財務省 北陸財務局 経済調査課  
TEL (076) 292-7858

# 1. 個人消費 … 緩やかに回復しつつある

※ 前回5月判断を据置き(令和6年11月以降、8か月連続の据置き)

百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。



業態	判断	前回との比較
百貨店・スーパー	緩やかに回復しつつある	➡
コンビニエンスストア	堅調となっている	➡
ドラッグストア	拡大している	➡
ホームセンター	弱含んでいる	➡
家電大型専門店	持ち直しの動きに一服感がみられる	➡
新車販売	緩やかに持ち直しつつある	➡

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。

(注2) 3か月平均は当局試算。

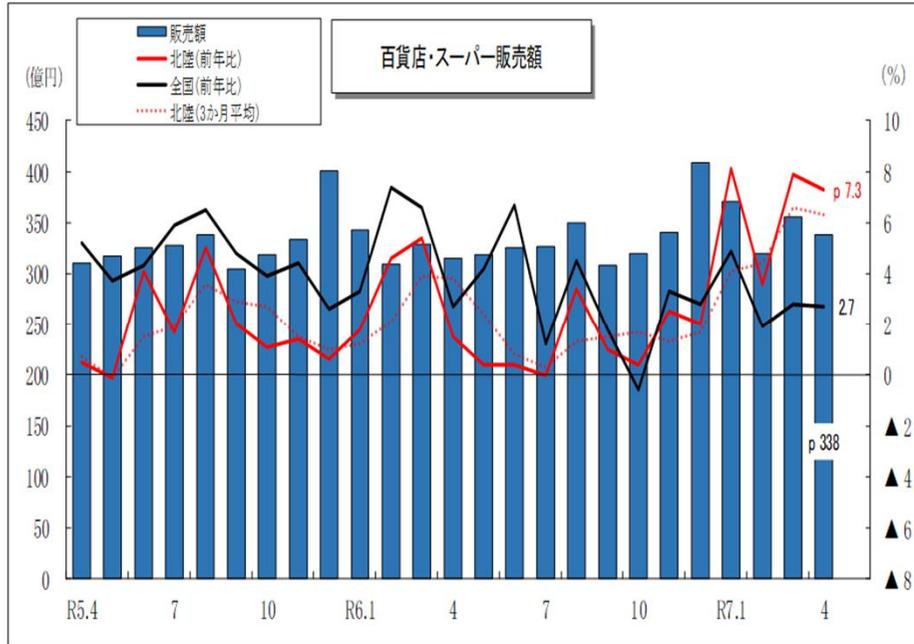
(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

# (1) 百貨店・スーパー販売

4月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では、衣料品等の動きが鈍いことから、前年を下回っている。
- ・スーパーでは、飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。

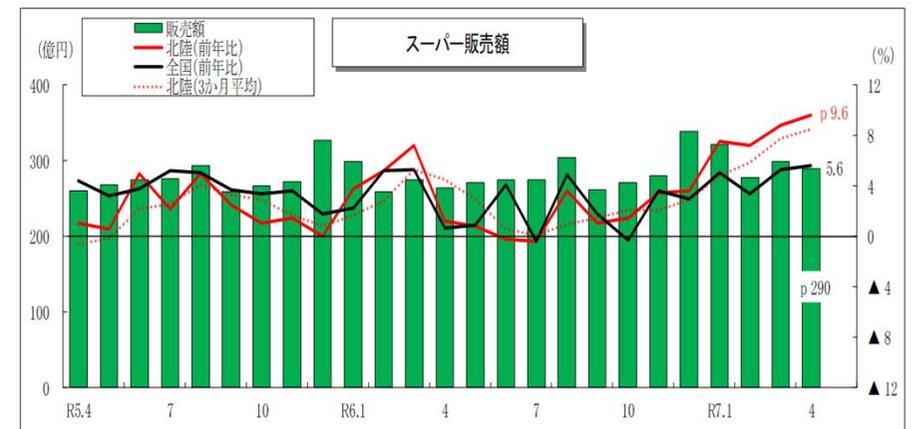
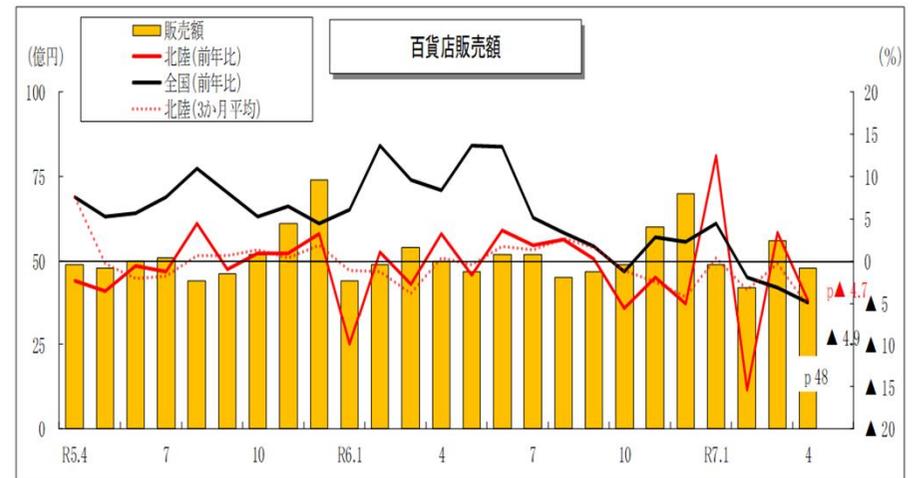
以上のような状況を踏まえると、緩やかに回復しつつある。



### (主なヒアリング結果)

- > 肌寒い日が続き、春物衣料の動きが鈍かったほか、物価高で以前より価格にシビアになっている。他方、プチ贅沢として物産展は好調。(百貨店)
- > インバウンドは客数は伸びているが、買上単価が減少しており苦戦している。(百貨店)
- > 先行きの不透明感が高まる中で、安全資産としてか、宝飾・時計など外商に動きがみられる。(百貨店)
- > 物価高により、広告日や販促日に客数が増える傾向が強くなっている。(スーパー)
- > コメの価格高騰により、食パンや麺類に流れる傾向がみられる。(スーパー)

※前回5月判断を据置き(令和6年11月以降、8か月連続の据置き)



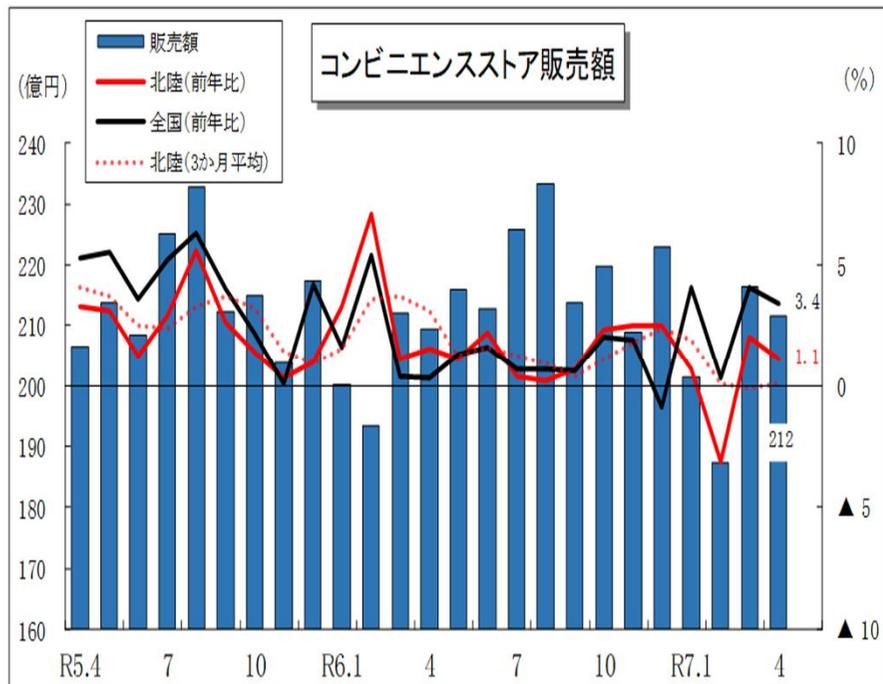
(注)3か月平均は当局試算。

(資料)経済産業省、中部経済産業局

## (2) コンビニエンスストア販売等

①コンビニエンスストア販売は、米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回5月判断を据置き(令和4年8月以降、35か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

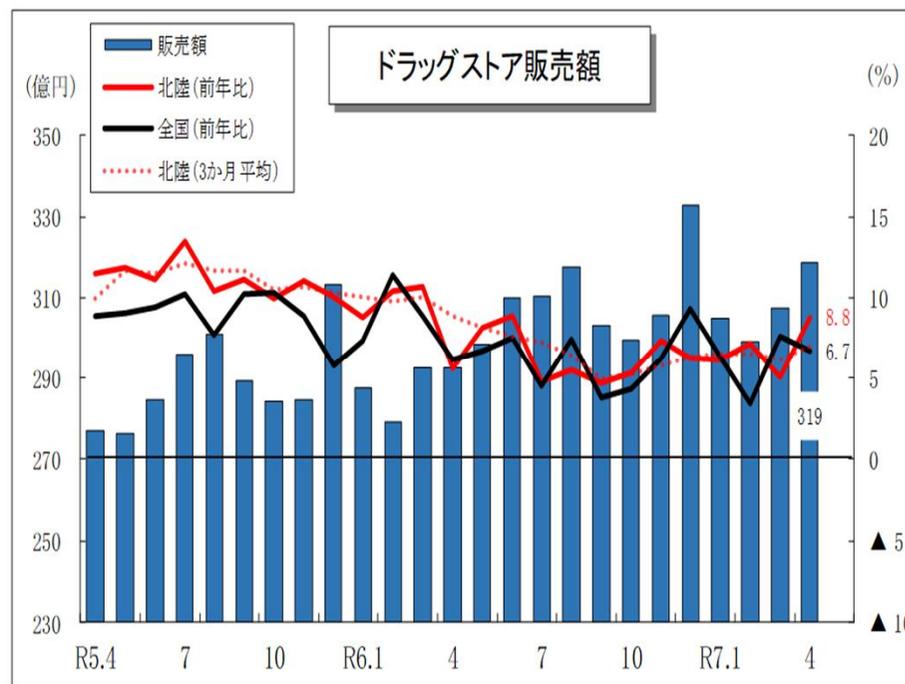
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

>4月は、昨年よりも気温が低く、飲料や冷やし麺の動きが鈍かったものの、揚げ物が好調に推移した。  
>物価高の影響から、お弁当よりも、単価の低いおにぎりや冷凍食品の Pasta を購入する人が増えている。

②ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回5月判断を据置き(令和5年11月以降、20か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

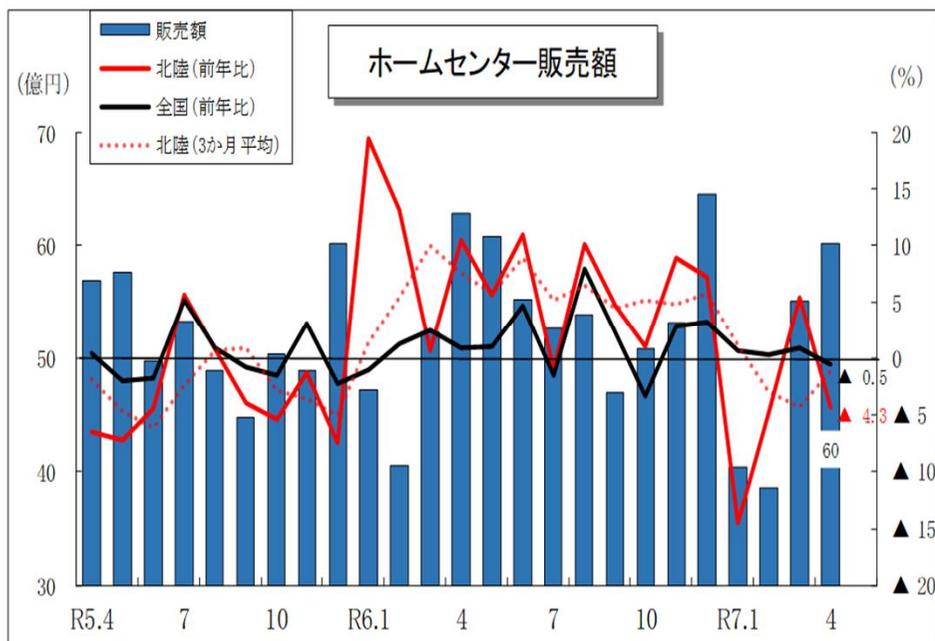
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

>4月以降、昨年と比べて気温が低く、UV商品や制汗剤の動きが鈍いものの、冬物商品のリップクリーム等が足下でも売れている。  
>コメの売上げが伸びており、入荷した備蓄米も発売日の午前中には売り切れた。

③ホームセンター販売は、園芸用品の動きが鈍いことから、弱含んでいる。

※前回5月判断を据置き  
(令和7年4月以降、3か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

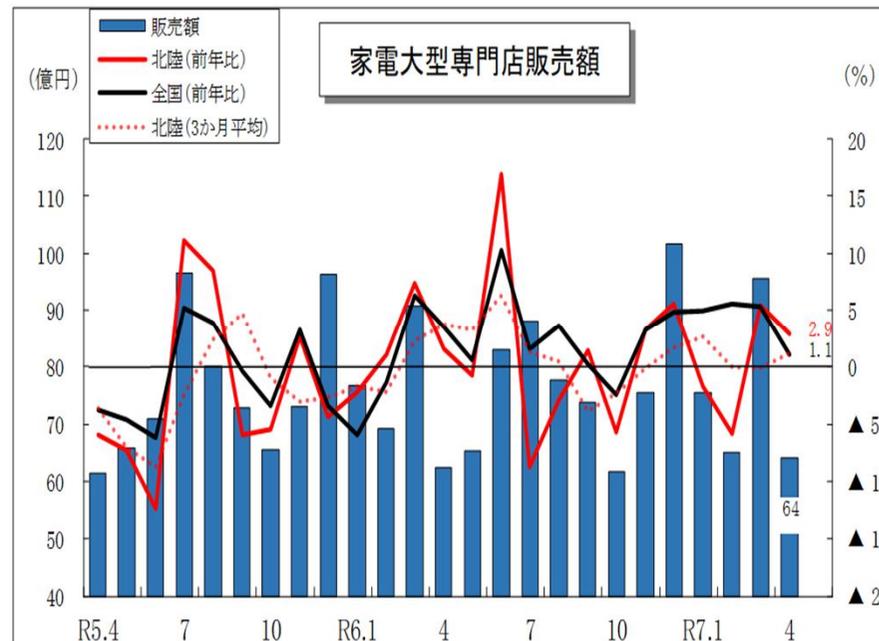
(資料)経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

>4月以降気温が上がらず、エアコンや園芸用品の動きが鈍い。  
>園芸用品が悪いなかでも、家庭菜園用の野菜苗に限っては、野菜の高騰が影響してか、足下で動きがみられる。

④家電大型専門店販売は、白物家電の動きが鈍いことから、持ち直しの動きに一服感がみられる。

※前回5月判断を据置き  
(令和7年5月以降、2か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料)経済産業省、北陸財務局

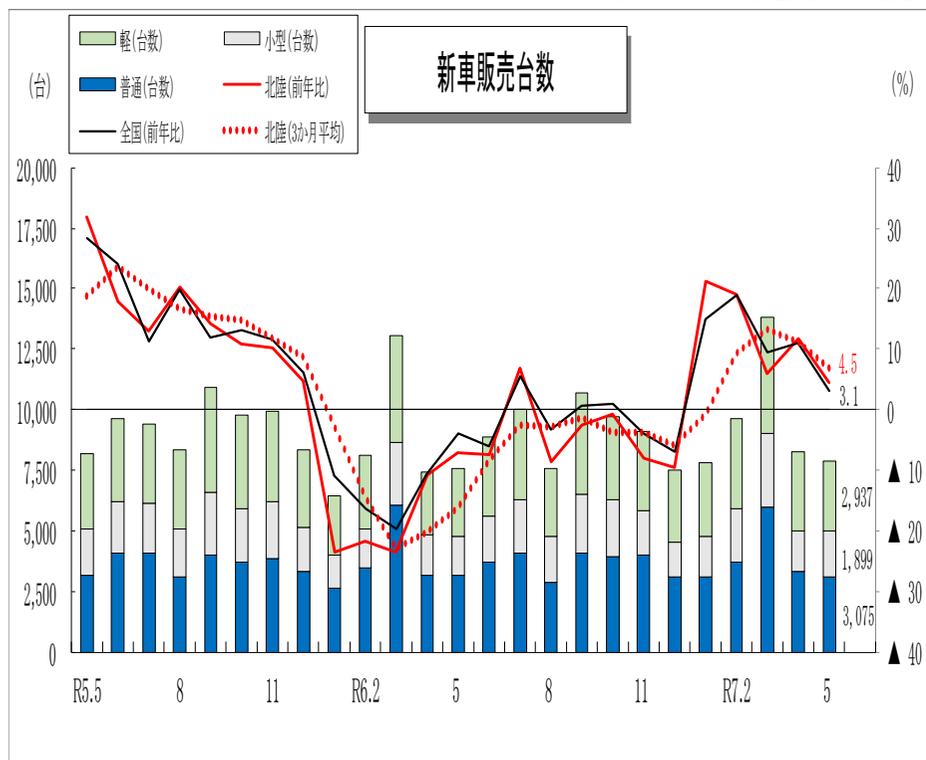
(主なヒアリング結果)

>3、4月は、エアコンを前倒して購入する動きがみられたものの、足下では気温が上がらず動きが鈍い。  
>スマートフォンは、親子など複数契約割引キャンペーンの効果もあって、好調に推移している。

### (3) 新車販売

5月の新車販売台数は、前年を上回っており、緩やかに持ち直しつつある。

※前回5月判断を据置き  
(令和7年4月以降、3か月連続の据置き)

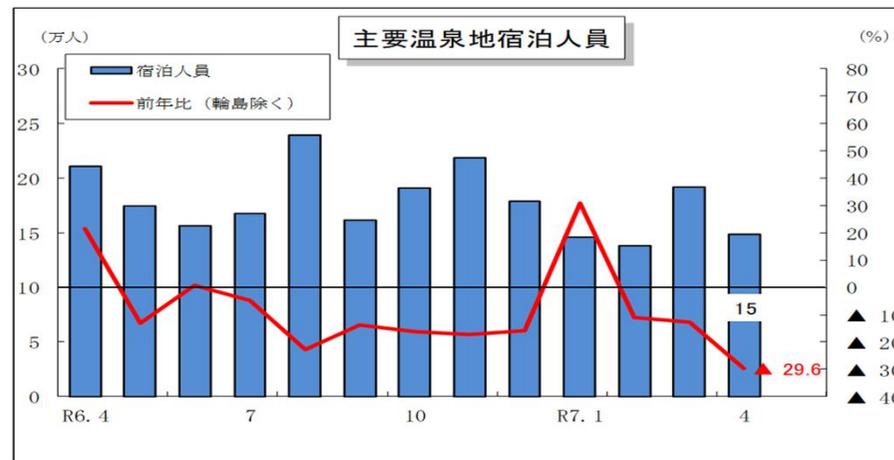


(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

(主なヒアリング結果)  
 > ガソリン高を背景に、低燃費の車種が人気となっている。  
 > 新型車の発表を機に、ショールームへの来場者が増えており、当分、受注増加が続くと見込んでいる。

### (4) 観光・旅行関連

① 4月の主要温泉地(輪島除く)の宿泊客数は、前年を下回っている。



(資料) 北陸観光協会

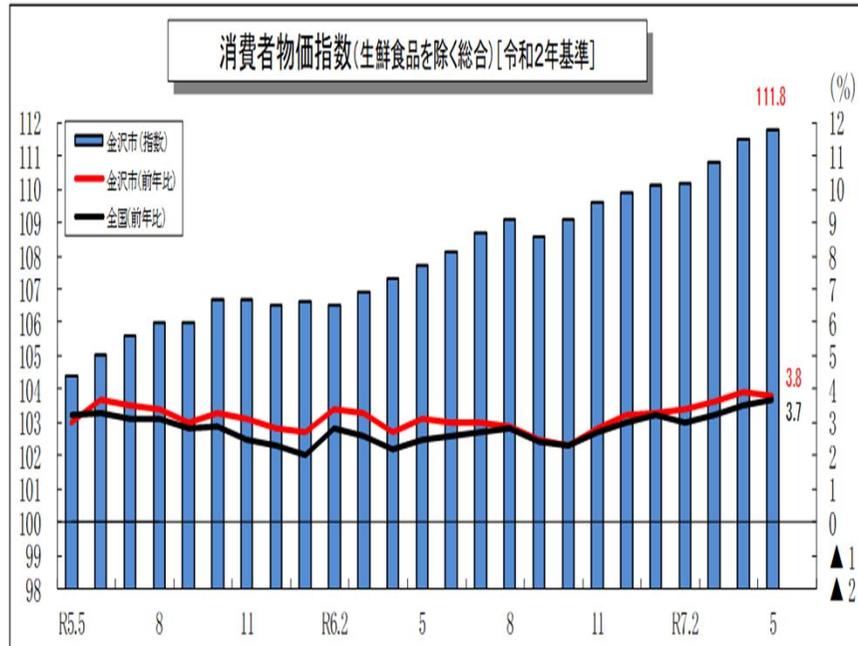
(主なヒアリング結果)  
 > 昨年の応援割や新幹線延伸効果の反動で、前年を下回っている。(加賀)  
 > コメなど生活物価が上昇しているため、旅行などへの支出が減少しないか懸念している。(加賀)

② 主要観光地の入込客数(5月)は、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)  
 > 欧米客を中心にインバウンドが増加している。(金沢)  
 > 施設の復旧に伴い客足が少しずつ戻っており、県外客も増えている。(能登)  
 > アニメキャラクターとの企画展が人気で平日の入込も多く、足下でも順調に推移している。(福井)

## (消費者物価)

5月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。

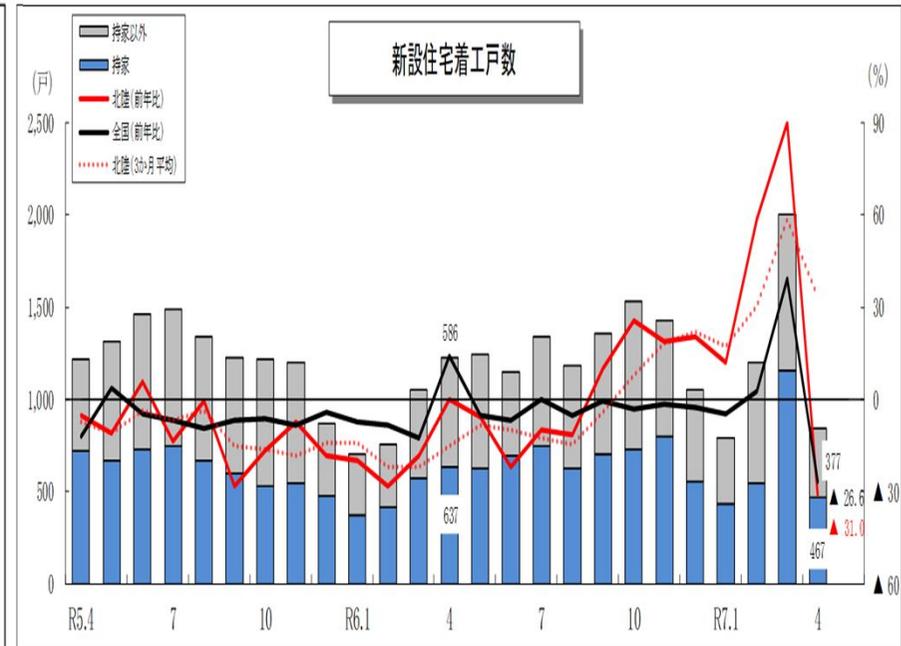


(資料)総務省

## 2. 住宅建設 …… 持ち直しつつある

4月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、持ち直しつつある。

※前回5月判断を据え置き



(注)3か月平均は当局試算。

(資料)国土交通省、北陸財務局

### (主なヒアリング結果)

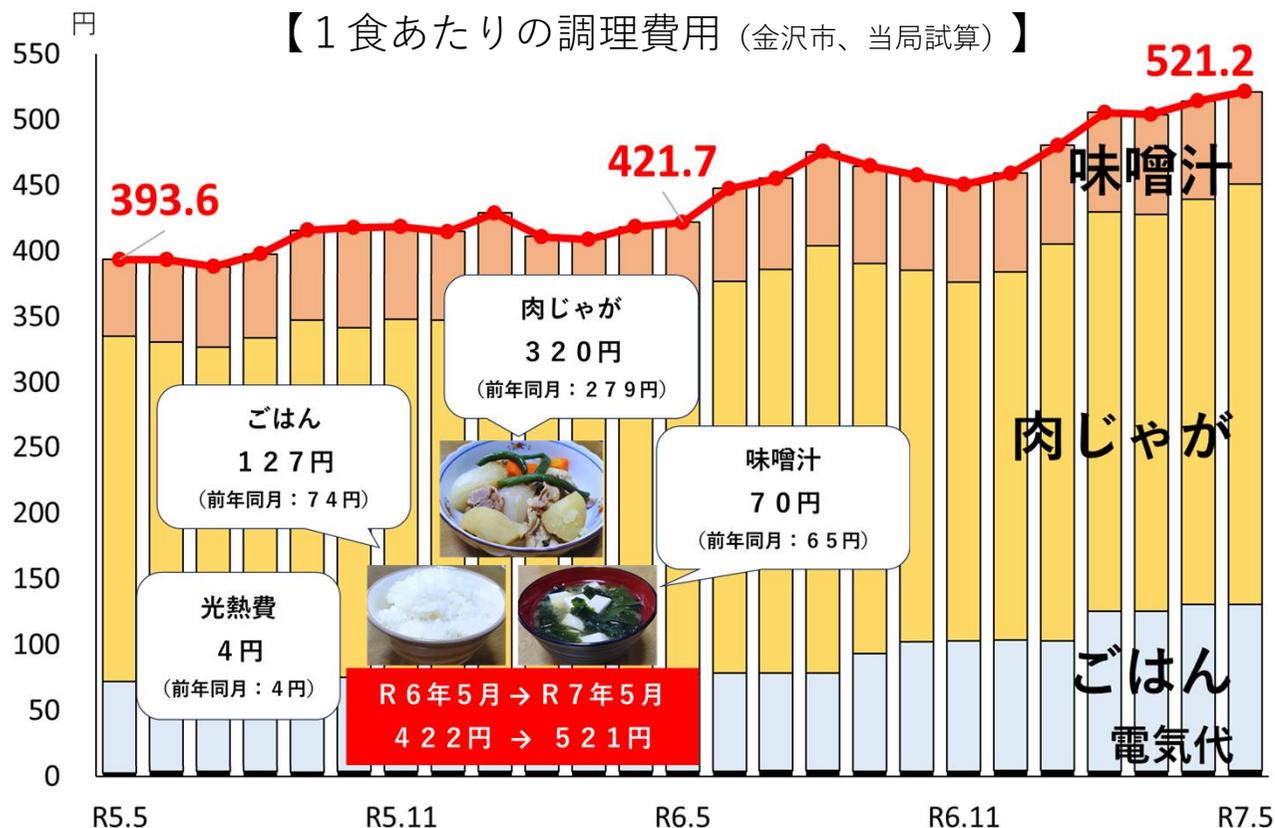
- > 3月は建築基準法改正前の駆け込みで大きく増加したが、4月以降、反動がみられている。
- > 被災家屋の解体等が徐々に進み、能登のほか、金沢など被災地から離れた地域でも建て替え需要が増えている。
- > 住宅の価格が上がっているなか、GX補助金などが住宅購入の大きな後押しになっている。

## コラム Column

# 肉じゃが作るのにいくらかかる？

— 物価高を食卓から考える —

【1食あたりの調理費用（金沢市、当局試算）】



(資料出所)

総務省「小売物価統計調査（動向編）」のうち金沢市の価格データを用い、当局で試算したもの。

(備考)

【原材料】うるち米（コシヒカリ）、じゃがいも、にんじん、たまねぎ、さやいんげん、豚肉（国産）、風味調味料、砂糖、清酒、しょう油、食用油、みそ、豆腐、ねぎ、わかめ

【電気代】電気（炊飯のみ・保温を除く、調理・中火）

## ■ 企業から見た消費行動の様子

< 食材高騰に対する家計行動 >

- 広告日や販促日への反応（来客数増）が以前よりも強い【食品スーパー】
- 春先にはあまりなかった「コメからパン・麺類へのシフト」がみられる【食品スーパー】
- 日々の食費を節約し、その分物産展や催事に使う傾向がある【百貨店】

< コメへの反応 >

- コメ不足にあっても、他地域と違い、棚からコメが消えるといったことは無かった【小売】
- 低価格の備蓄米は、販売初日の午前売り切れた【小売】
- 低価格の備蓄米は、想像より勢いがなく、完売には至らなかった【小売】

< 食費以外の支出抑制への動き >

- 食料品の家計負担が高まっており、衣料品は減少傾向が続いている【百貨店】
- コメの値上がり報道が連日続いたため、節約志向が高まり、外食頻度が低下することを懸念している【経営コンサルタント】
- コメなどの生活物価の上昇で、旅行などレジャー費用の減少を懸念している【温泉地】
- 節約志向の高まりで、手土産や贈答需要が減少している【小売・和洋菓子】
- お中元は商材単価が上がっているため、昨年と同じ商品を諦め、グレードを落として予算内で選ぶ消費者が多い【百貨店】

✓ 食料品の物価高が進んでいる

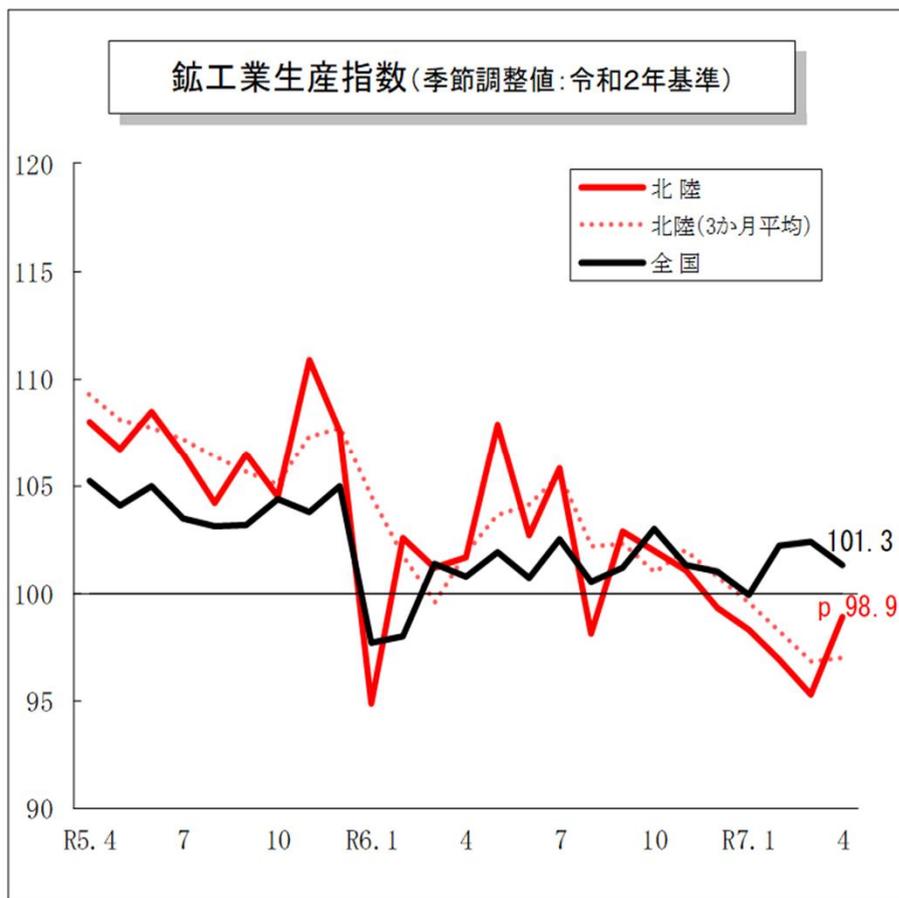
✓ これに対し、広告日での購入や食材の見直しなどによって、食費を抑える動きが高まっている

✓ 今後、節約志向のさらなる高まりによって、衣料品や外食・旅行需要などを含め、消費マインドの減退が懸念される

### 3. 生産 … 弱含んでいる

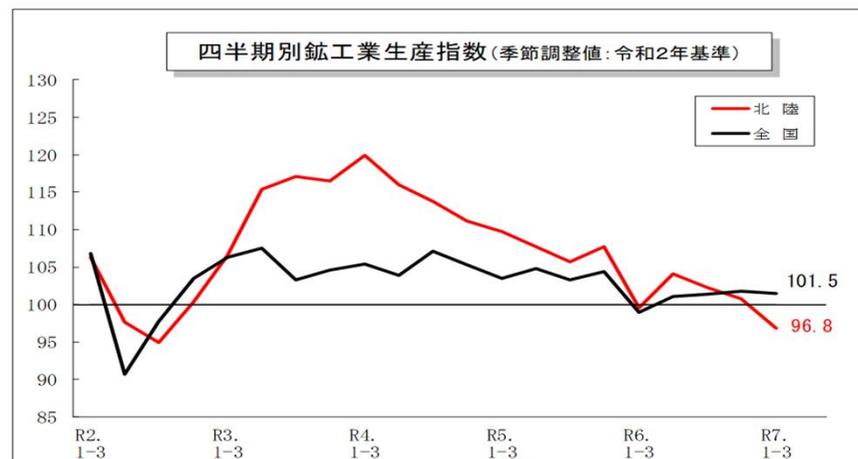
※ 前回5月判断を据置き

化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械が弱い動きとなっていることなどから、全体では弱含んでいる。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業種	判断	前回との比較
化学	緩やかに回復している	➡
電子部品・デバイス	弱い動きとなっている	➡
生産用機械	弱い動きとなっている	➡
金属製品	弱含んでいる	➡
繊維	緩やかに持ち直しつつある	➡

業種別にみると、

(1) 化学は、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

※前回5月判断を据置き(令和6年11月以降、8か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- ジェネリック医薬品の供給不安が続いており、工場はフル稼働。
- 新工場の生産設備を順次拡充しており、徐々に生産能力が拡大していく見込み。

(2) 電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けを中心に、弱い動きとなっている。

※前回5月判断を据置き

(主なヒアリング結果)

- スマホ向けは、中華圏メーカー向けで現地部品メーカーとの価格競争が激化しており、売上げを落としている。
- 自動車向けは、ガソリン車向けでメーカーの生産回復を背景に増加しているものの、成長を見込んでいるEV車向けが伸びてこない。

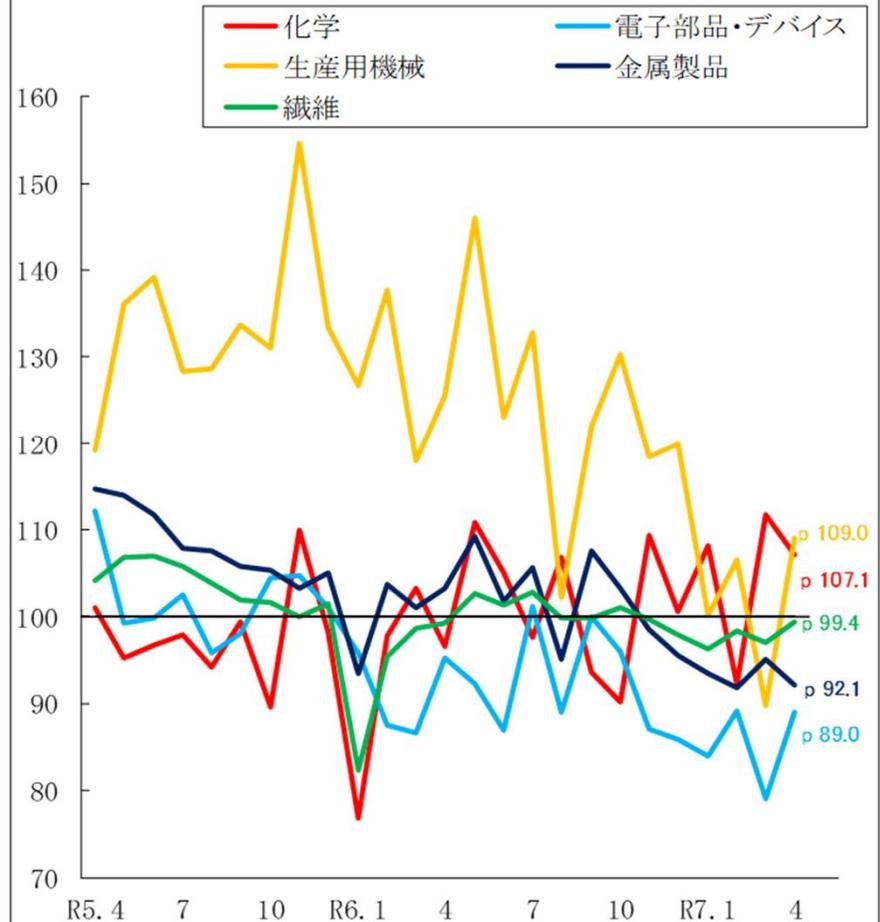
(3) 生産用機械は、半導体製造装置や繊維機械で持ち直しの動きに一服感がみられるほか、金属加工機械が弱い動きとなっていることなどから、全体では弱い動きとなっている。

※前回5月判断を据置き

(主なヒアリング結果)

- 半導体製造装置は、スマホやPCの需要が回復していないことから、伸び悩んでいる。
- 繊維機械は、欧州メーカーとの価格競争により苦戦しており、生産量は計画に届いていない。
- 金属加工機械は、自動車関連企業を中心に、国内、海外向けとも受注が不安定であり、先行きも不透明である。

主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、ビル用に持ち直しの動きがみられるものの、住宅用が減少していることから、全体では弱含んでいる。 ※前回5月判断を据置き(令和7年4月以降、3か月連続の据置き)

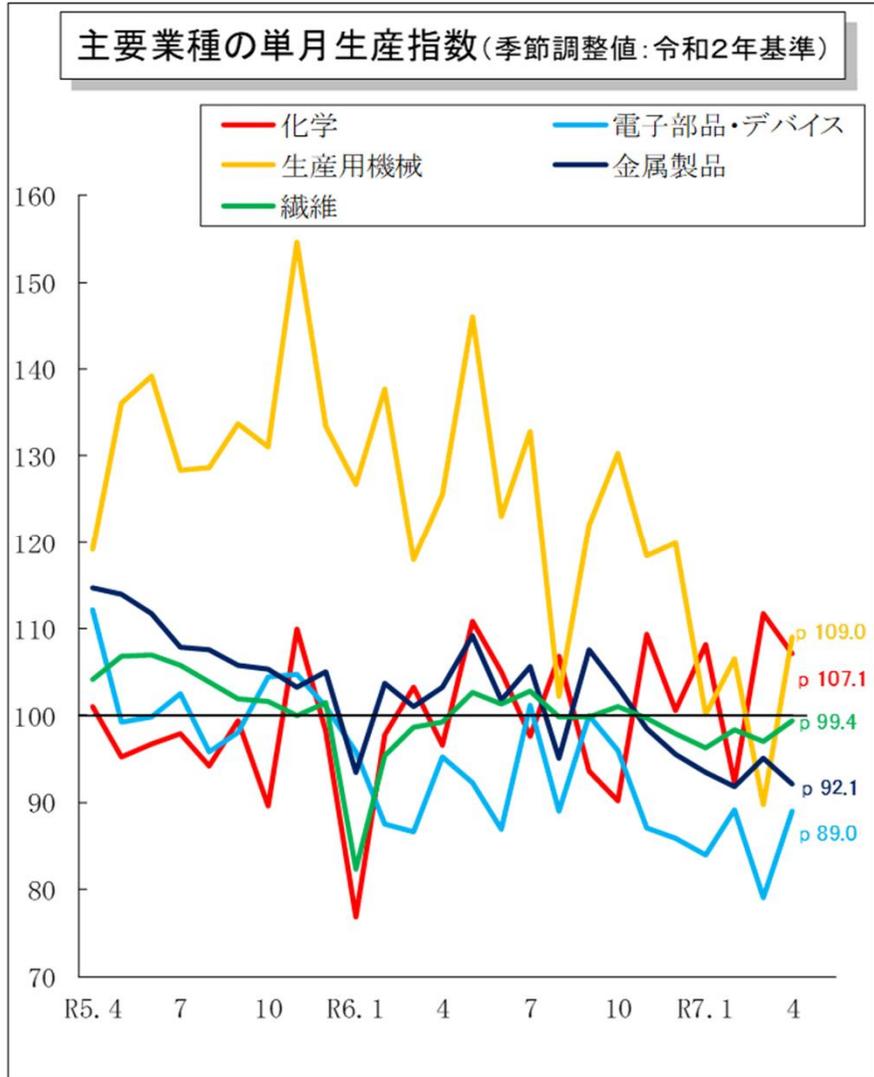
(主なヒアリング結果)  
 > 建築基準法改正前の駆け込みで年度末に住宅着工が増加したため、今後、一時的に住宅用建材の受注は増えるが、アルミサッシ市場の縮小傾向に変化はない。  
 > ビル用は、高機能サッシが堅調で、今後生産が増加する見込み。

(5) **繊維**は、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。 ※前回5月判断を据置き(令和6年6月以降、13か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)  
 > 衣料向けは、物価高で国内市場が冷え込んでいるため、受注が減少している。  
 > 車輻資材の受注は堅調であり、工場のDX化を進めて生産効率を高めていく。

(参考) 米国の通商政策に関する足下の声

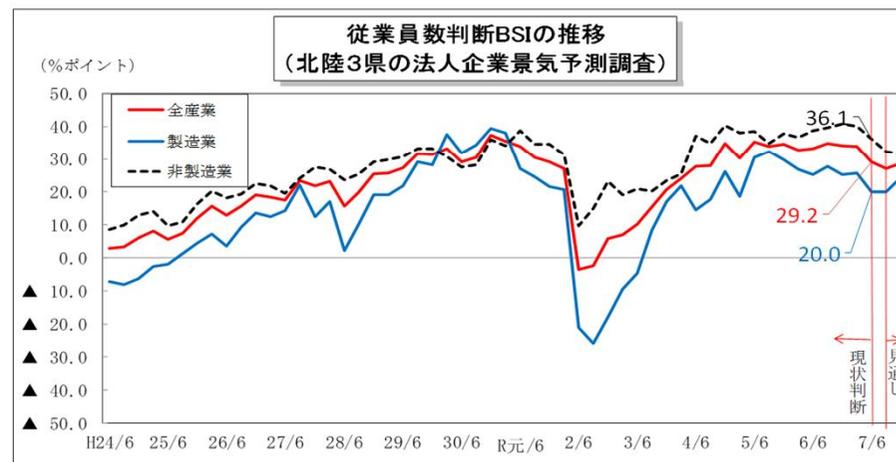
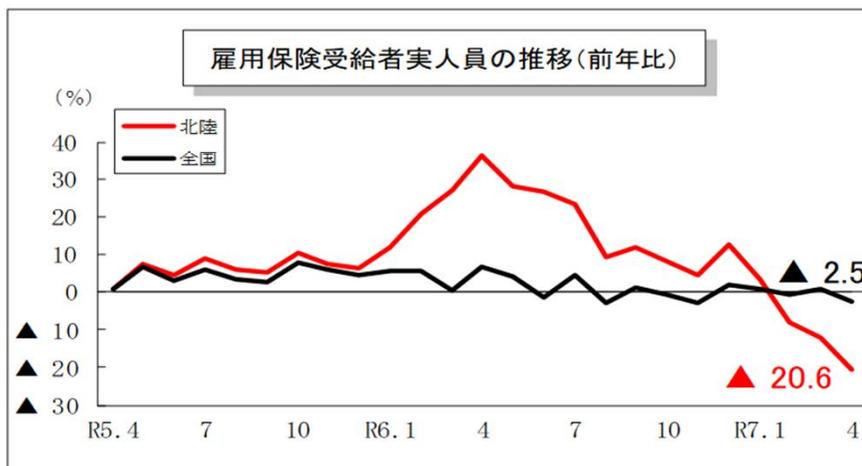
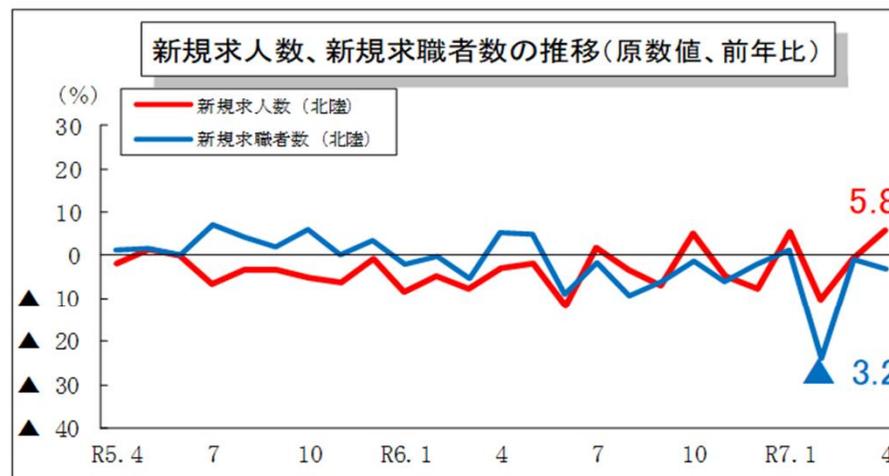
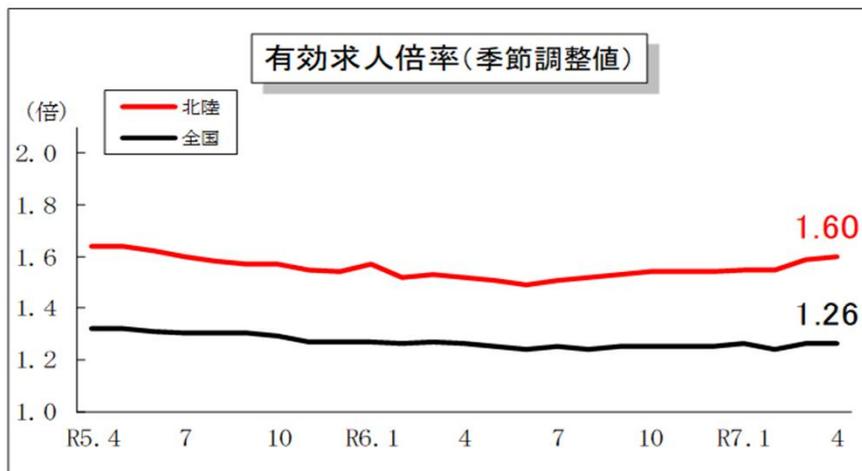
- > 米国向けの生産も多い取引先からは、4月の関税発動時には受注が止まり、90日間の猶予期間公表時には再度動き出すなど、関税政策の影響が大きく、先行き不透明感が強い(生産用機械)
- > 米国で様子見の動きが続いている。関税の動向が明確になれば、値引きなど対策も考えられるが、今の不透明な状況では動きようがない(生産用機械)
- > 米国向けについて、現状、影響はないが、今後、関税引き上げ分について値引き要請があると見込んでおり懸念している(輸送機械)
- > 米国工場では中国から原材料を輸入しており、年間数億円のコスト増を見込むが、製品の差別化ができており、価格転嫁で対応可能(繊維)
- > スマホ向けは、追加関税を見越した駆け込み需要がみられるが、スマホ市場自体は大きく伸びるわけでもないため、いずれ反動減が表れる見込み(電子部品)



## 4. 雇用情勢 … 緩やかに持ち直している

※前回5月判断を据置き(令和4年7月以降、36か月連続の据置き)

4月の有効求人倍率は、上昇している。  
 新規求人数は前年を上回っており、新規求職者数は前年を下回っている。  
 雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。



(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。  
 (注2) 最新の現状判断は、令和7年6月末時点。

(資料) 厚生労働省、各県労働局、北陸財務局

■主要経済指標 (1)【次ページに注記等あり】

項目			R7年2月	R7年3月	R7年4月	R7年5月	資料出所	備考
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円 17,306 前年比 1.9	19,350 2.8	18,025 2.7	… …	経済産業省	-
		北陸	百万円 31,976 前年比 3.6	35,499 7.9	p 33,786 p 7.3	… …	中部経済産業局	
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円 9,802 前年比 0.3	11,041 4.1	10,779 3.4	… …	経済産業省	-
		北陸	百万円 18,734 前年比 ▲3.1	21,639 2.0	21,168 1.1	… …	(北陸財務局)	
	ドラッグストア販売額	全国	億円 7,047 前年比 3.4	7,866 7.6	7,628 6.7	… …	経済産業省	-
		北陸	百万円 29,914 前年比 7.1	30,746 5.1	31,854 8.8	… …	(北陸財務局)	
	ホームセンター販売額	全国	億円 2,286 前年比 0.3	2,773 0.9	3,008 ▲0.5	… …	経済産業省	-
		北陸	百万円 3,857 前年比 ▲4.8	5,512 5.4	6,018 ▲4.3	… …	(北陸財務局)	
	家電大型専門店販売額	全国	億円 3,616 前年比 5.6	4,802 5.3	3,577 1.1	… …	経済産業省	-
		北陸	百万円 6,517 前年比 ▲5.8	9,546 5.4	6,416 2.9	… …	(北陸財務局)	
	乗用車新車登録・届出台数	全国	台 354,135 前年比 18.9	420,279 9.5	286,794 11.0	269,143 3.1	(北陸財務局)	・乗用車新車登録・届出台数は、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ。
		北陸	台 9,666 前年比 19.2	13,825 5.9	8,267 11.7	7,911 4.5		
物価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国 (R2=100)	指数 109.7 前年比 3.0	110.2 3.2	110.9 3.5	111.4 3.7	総務省	-
		金沢市 (R2=100)	指数 110.2 前年比 3.4	110.8 3.6	111.5 3.9	111.8 3.8		
住宅着工	新設住宅着工戸数	全国	戸 60,583 前年比 2.4	89,432 39.1	56,188 ▲26.6	… …	国土交通省	-
		北陸	戸 1,198 前年比 58.5	2,003 89.7	844 ▲31.0	… …	(北陸財務局)	
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国 (R2=100)	(10,000) 102.2 前月比 2.3	102.4 0.2	101.3 ▲1.1	… …	経済産業省	-
		北陸 (R2=100)	(10,000) 96.9 前月比 ▲1.4	95.3 ▲1.7	p 98.9 p 3.8	… …	中部経済産業局	
		化学	(1,540.5) 92.3 前月比 ▲14.6	111.7 21.0	p 107.1 p ▲4.1	… …		
		電子部品・デバイス	(1,401.6) 89.2 前月比 6.2	79.0 ▲11.4	p 89.0 p 12.7	… …		
		生産用機械	(1,233.3) 106.6 前月比 6.5	89.8 ▲15.8	p 109.0 p 21.4	… …		
		金属製品	(905.8) 91.8 前月比 ▲1.7	95.1 3.6	p 92.1 p ▲3.2	… …		
		繊維	(579.9) 98.4 前月比 2.2	97.0 ▲1.4	p 99.4 p 2.5	… …		

## ■主要経済指標 (2)

	項目			R7年2月	R7年3月	R7年4月	R7年5月	資料出所	備考
雇用	有効求人倍率 (季節調整値)	全国	倍	1.24	1.26	1.26	...	厚生労働省	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.55	1.59	1.60	...	(北陸財務局)	
	新規求人数(原数値)	北陸	前年比	▲10.4	▲0.6	5.8	...	(北陸財務局)	-
	新規求職者数(原数値)	北陸	前年比	▲24.0	▲0.8	▲3.2	...	(北陸財務局)	
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	▲0.7	0.9	▲2.5	...	厚生労働省	-
北陸		前年比	▲8.1	▲11.9	▲20.6	...	(北陸財務局)		
公共事業	公共工事請負金額	全国	億円	6,914	17,220	27,254	16,541	東日本建設業保証ほか	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	▲22.5	6.0	12.0	4.0		
		北陸	億円	327	725	1,247	805	(北陸財務局)	
			前年比	85.0	57.6	89.6	2.4		
金融	預 (末残金)	全国	億円	11,510,567	11,611,962	11,653,756	...	日本銀行 信金中央金庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計(3県内店舗分)及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したもの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	1.4	1.1	0.7	...		
		北陸	億円	215,615	219,211	219,748	...	(北陸財務局)	
			前年比	2.1	1.7	1.7	...		
	貸 (末残金)	全国	億円	6,950,169	6,979,025	6,962,561	...	日本銀行 信金中央金庫	
			前年比	3.6	3.2	3.0	...		
北陸		億円	107,464	107,591	107,228	...	(北陸財務局)		
		前年比	1.2	0.8	1.5	...			
企業倒産	企業倒産件数	北陸	件	14	18	14	19	(株)東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
			前年比	▲30.0	0.0	27.2	5.5		
	負債総額	北陸	百万円	1,421	6,846	5,900	1,424		
			前年比	41.2	229.2	299.4	▲6.9		

### 【注記】

- pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
- 「北陸」は、断りがない限り、石川、富山、福井の3県である。
- 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「(北陸財務局)」として表示している。
- 金額等の計数及び前年比は、断りがない限り、四捨五入で表示している。